

取扱説明書

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社 web (<http://www.mitaka-com.co.jp/>) をご覧ください。

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
本製品は安全に配慮して設計されています。しかし間違った使い方をすると、火災や感電などにより死亡や大怪我などの人身事故につながる
ことがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

別紙の「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。

製品全般の注意事項が記されています。

故障したら使わない

すぐに、弊社までご連絡ください。

万一、異常が起きたら

・煙が出たら
・異常な音、においがしたら
・内部に水、異物が入ったら
・製品を落としたりキャビネットを破損したときは



1. 電源を切る。
2. 電源コードや接続を抜く。
3. お買い上げ店または弊社に連絡する。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更になる場合があります。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。



同梱品の確認

パッケージには、以下の品物が入っております。梱包には万全を期しておりますが万一不足や破損がありましたら、お手数ですが弊社までご連絡下さい。代品をお送りいたします。

ボリュームリモートコントロールユニット本体 : 1 台 (EIA マウント金具付属) EIA マウント金具は梱包材の端に入っています。付属のネジにて取付けて下さい。
取扱説明書兼保証書 : 1 冊 (本書)

ボリュームリモートコントロールユニットでできること

音声 3ch
入出力

ミキサーからの音声信号を 2 ch (L, R) ・ 1 ch (モノラル) の 3 ch 入出力することができます。

ローカル
制御

ミキサーからの音声信号を本体正面のボリュームで調節することができます。

リモート
制御

ミキサーからの音声信号を本体に接続した外部のボリュームで遠隔から調節することができます。

UP-DOWN
制御

ミキサーからの音声信号を本体に接続した外部のスイッチ又は電圧で遠隔から調節することができます。

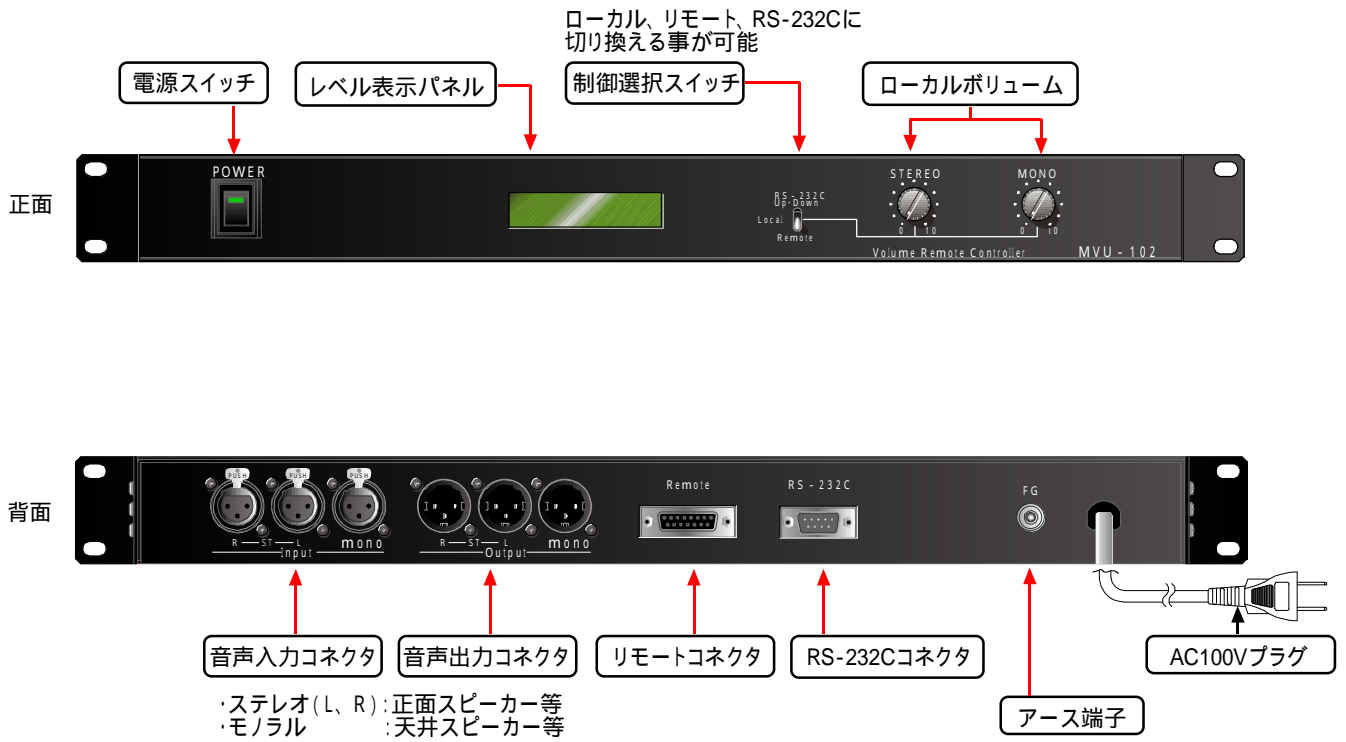
RS-232C
制御

ミキサーからの音声信号を本体に接続した制御装置から RS-232C のコマンドで遠隔からボリュームを調節することができます。

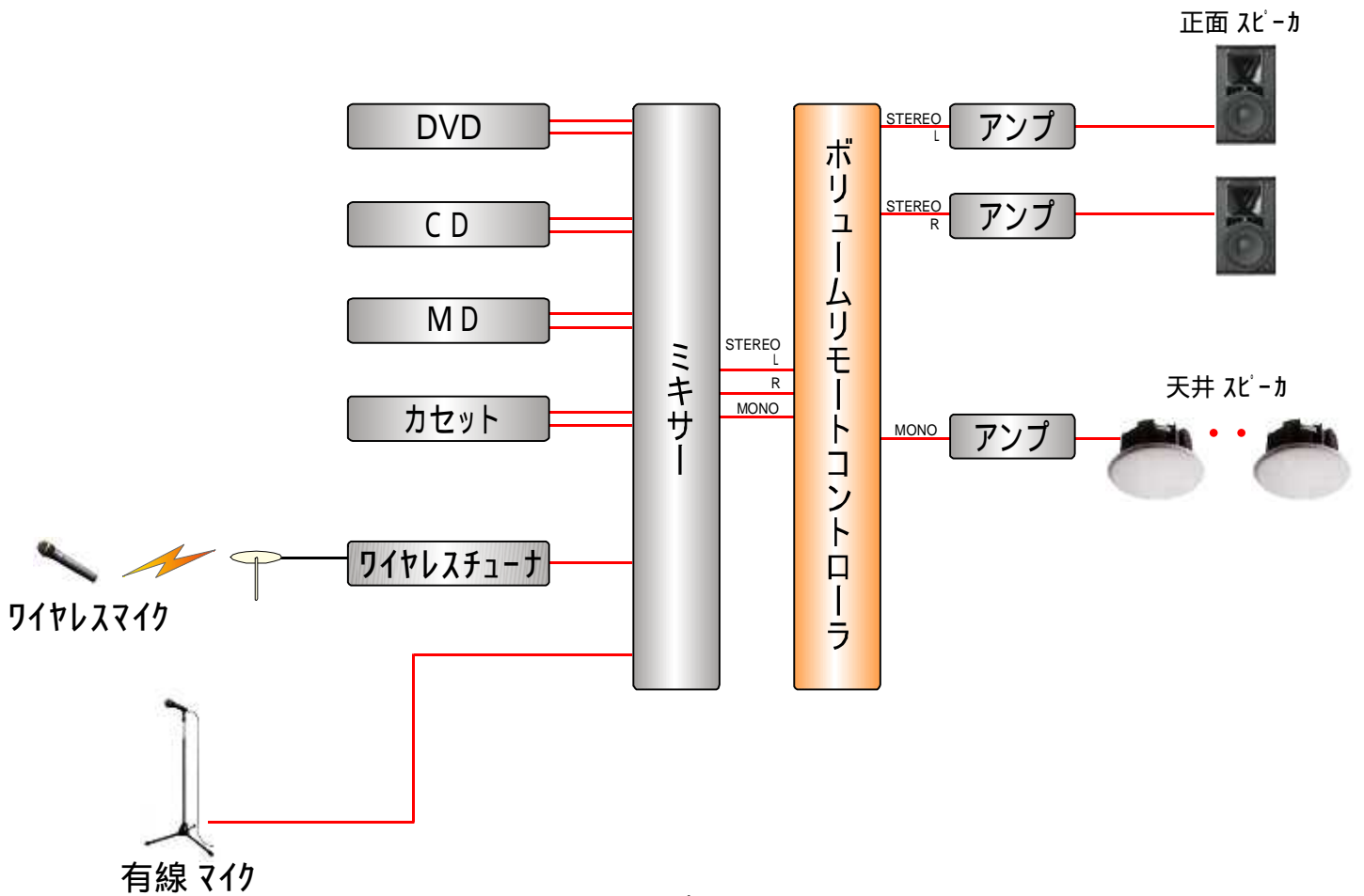
STEREO
MONO
ミキシング

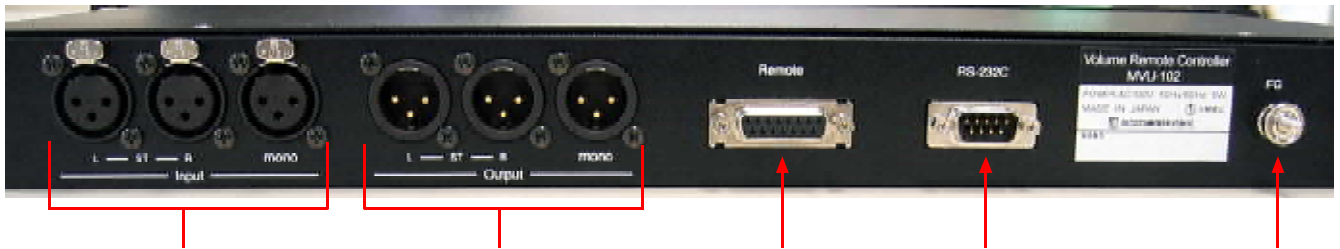
STEREO と MONO の音声、内部基板上のスイッチ操作にてミキシングすることができます。
スイッチの操作には筐体の上部蓋を開ける必要があります。

各部の名称



本器と外部音響機器の接続例





音声入力用キャノン(メス)

制御する音声信号を接続します。バランス / アンバランス接続可能。

XLR-3-31 相当。(平衡、基準レベル +4 dBs / 10k)

アンバランスで接続する場合は 2 番 HOT、3 番を 1 番グランド側に接続してください。

出力される音量が大きかったり小さかったりする場合は、接続した機器の入出力レベルを調節してください。



音声出力用キャノン(オス)

アンプなどに音声信号を接続します。バランス / アンバランス接続可能。

XLR-3-32 相当。(平衡、基準レベル +4 dBm / 600)

アンバランスで接続する場合は 2 番 HOT、3 番を 1 番グランド側に接続してください。



Remote入力用コネクタ(D-Sub15pin メス)

外部から各制御を行う端子です。

D- sub 15pin(メス端子、M2.6)

制御の目的に合わせてどちらを選んでください



RS-232C 入力用コネクタ(D-Sub9pin オス)

外部から各制御を行う端子です。

RS232C とUP - DOWNの制御は同時に行えません。

D- sub 9pin(オス端子、4-40)



アース端子

アースケーブルを接続します。 M4



電源の入れ方

AC100プラグを電源コンセントに差込みます。
 本体正面の電源スイッチを " ON " にします。
 しばらくすると(約5秒程度)カチッと音がして
 制御可能になり、音声が出力されます。



本体の起動

スイッチのランプが点灯し、レベル表示パネルに
 音量が表示されます。

- ・表示
- ST:ステレオ
- MON:モノラル



ローカルでの音量調節

制御選択スイッチをLocalにしますと、正面のボリュームつまみ
 で音量の調節ができます。
 レベル表示パネルに(12段階で)表示され、確認することが
 できます。



制御の選択

制御選択スイッチで制御方法を切り換える事ができます。
 制御は以下の3通りから選んでください。

RS-232C/Up-Down:RS-232C 又はスイッチによるアップダウンの音量調節
 を行うことができます。(P4.P5 参照)

Local :本体正面のボリュームにて音量調節を行うことができ
 ます。

Remote :外部に接続したボリューム又は電圧(+0~5v)にて
 音量調節を行うことができます。(P6 参照)



本体正面の制御選択スイッチで制御方法を切り換えてください。



RS-232C 入力用コネクタ (D-Sub9pin オス)

注) RS232C と UP - DOWNの制御は同時に行えません。
D-Sub 9pin(ストレート接続、オス端子、 4-40)

ボリューム制御コマンド

コンピュータ側の設定

通信フォーマット	
通信速度	9600bps
パリティチェック	無し
データビット長	8ビット
ストップビット長	1ビット
Xパラメータ	無効
通信方式	全二重

データ通信方式					
	コマンド	チャンネル	区切り	パラメータ	C R
設定	"A"(0x41)	"1" ~ "2"(0x31 ~ 0x32)	","(0x2C)	"000" ~ "255"(0x300x300x30 ~ 0x320x350x35)	0x0D
コマンドに対するレスポンス					
正常時	0x06,0x0D(ACK)				
異常時	0x15,0x0D(NCK)				
	コマンド	チャンネル	区切り	パラメータ	C R
読出	"a"(0x61)	"1" ~ "2"(0x31 ~ 0x32)	無し	無し	0x0D
コマンドに対するレスポンス					
読出時	"a"(0x61)	"1" ~ "2"(0x31 ~ 0x32)	","(0x2C)	"000" ~ "255"(0x300x300x30 ~ 0x320x350x35)	0x0D

チャンネル1:STEREO チャンネル2:MONO

どのコマンドも、RS232Cモード時しか動作しません。

レスポンスが200ms以内でない場合は、コマンドを再送して下さい。

コマンド例

CH1のボリューム値を124に設定する	
送信コマンド	0x410x310x2C0x310x320x340x0D
受信コマンド	
正常時	0x060x0D
異常時	0x150x0D
CH2のボリューム値を読み出す (ボリューム値 133)	
送信コマンド	0x610x320x0D
受信コマンド	0x610x320x2C0x310x330x330x0D

弊社ではRS - 232Cについての質問は一切受け付けておりません。



本体正面の制御選択スイッチで制御方法を切り換えてください。

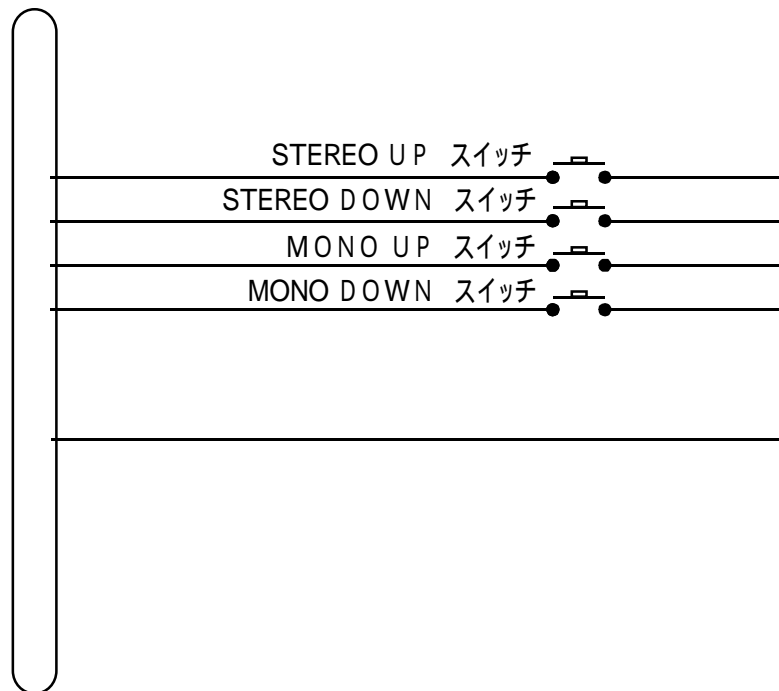


Remote入力用コネクタ(D-Sub15pinメス)

注)RS232CとUP - DOWNの制御は同時に行えません。
D- sub 15pin(メス端子、M2.6)

結線図

Remote
(D-Sub15pinメス)



ボリュームUP、ボリュームDOWNのスイッチを押している間、音量が増加、減衰します。
(ボリュームMinからMaxの遷移時間は約5秒です)
(ボリュームMinからMaxまで25ステップ(クリック)で遷移します)

最大ケーブル長について

2芯シールド線で100mまで実績がありますが、制御を保証することはできません。
お客様にて検証していただくようお願いいたします。



本体正面の制御選択スイッチで制御方法を切り換えてください。

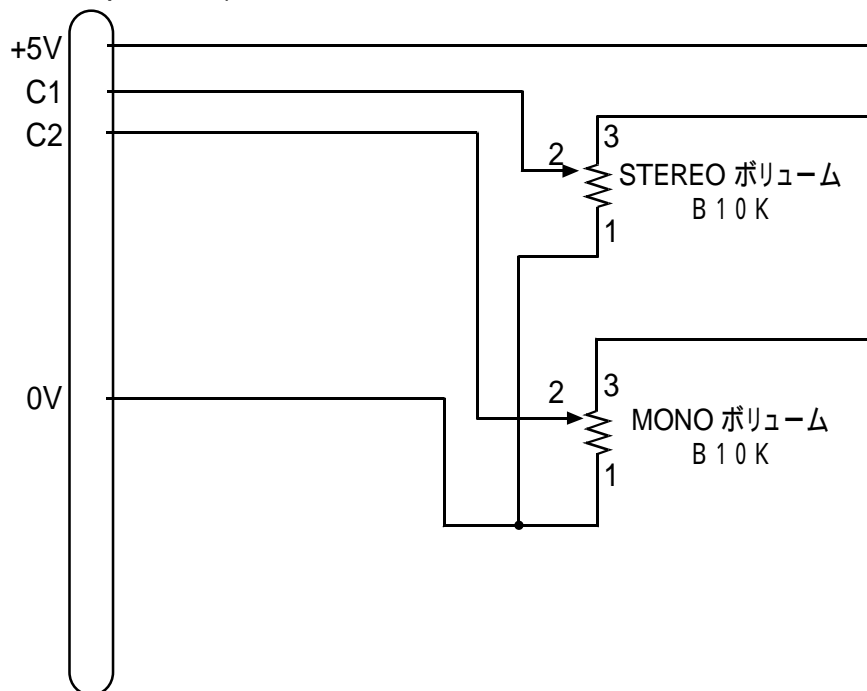


Remote入力用コネクタ(D-Sub15pinメス)

D- sub 15pin(メス端子、M2.6)

結線図

Remote
(D-Sub15pinメス)



外部からの電圧による制御について

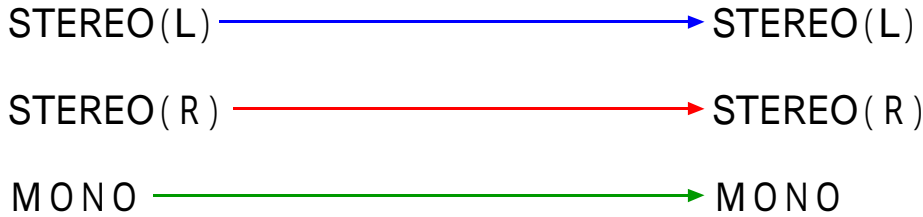
外部より電圧(+0 ~ 5V)で制御することもできます。[又は に + COM]

最大ケーブル長について

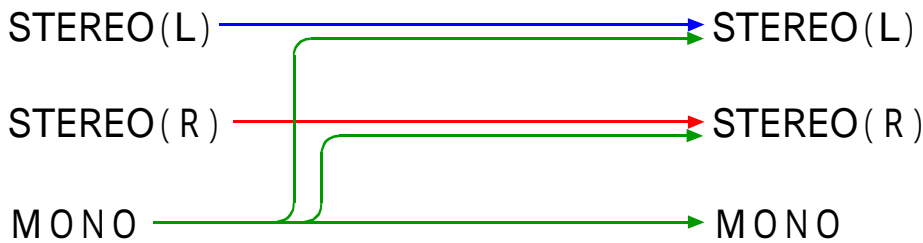
2芯シールド線で100mまで実績がありますが、制御を保証することはできません。お客様にて検証していただくようお願いいたします。

本体内部の基板に設置されたミキシングスイッチを「ON」にすることで MONO 音声を STEREO 音声にミキシングすること、もしくは STEREO 音声を MONO 音声にミキシングすることが可能です。同時に、両方のミキシングスイッチを「ON」にすることも可能です。

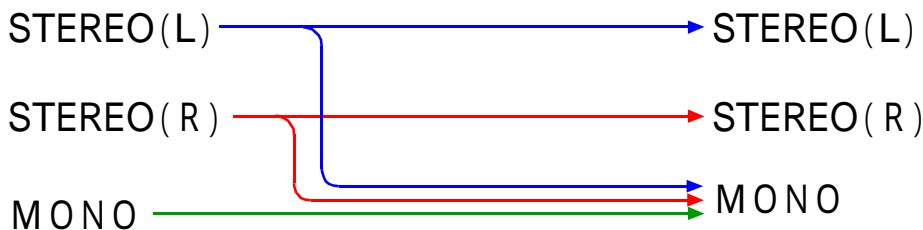
工場出荷状態 (ミキシングスイッチ OFF)



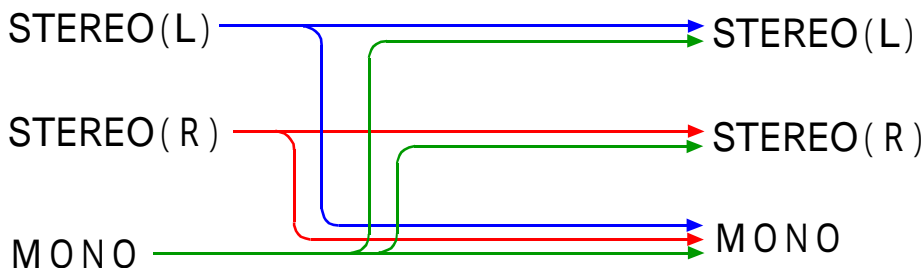
MONO 音声を STEREO 音声にミキシング (MONO ST を ON)



STEREO 音声を MONO 音声にミキシング (ST MONO を ON)



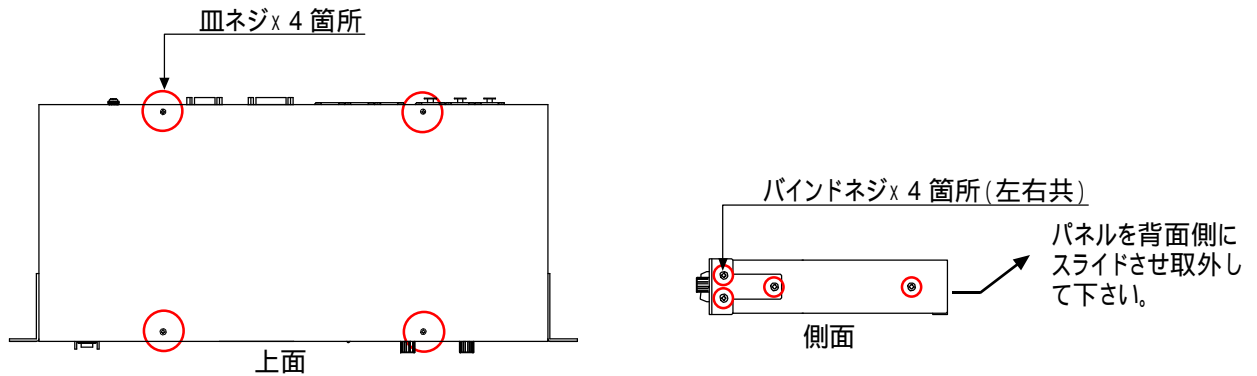
両方の音声をミキシング (両スイッチを ON)



本ユニットの開け方

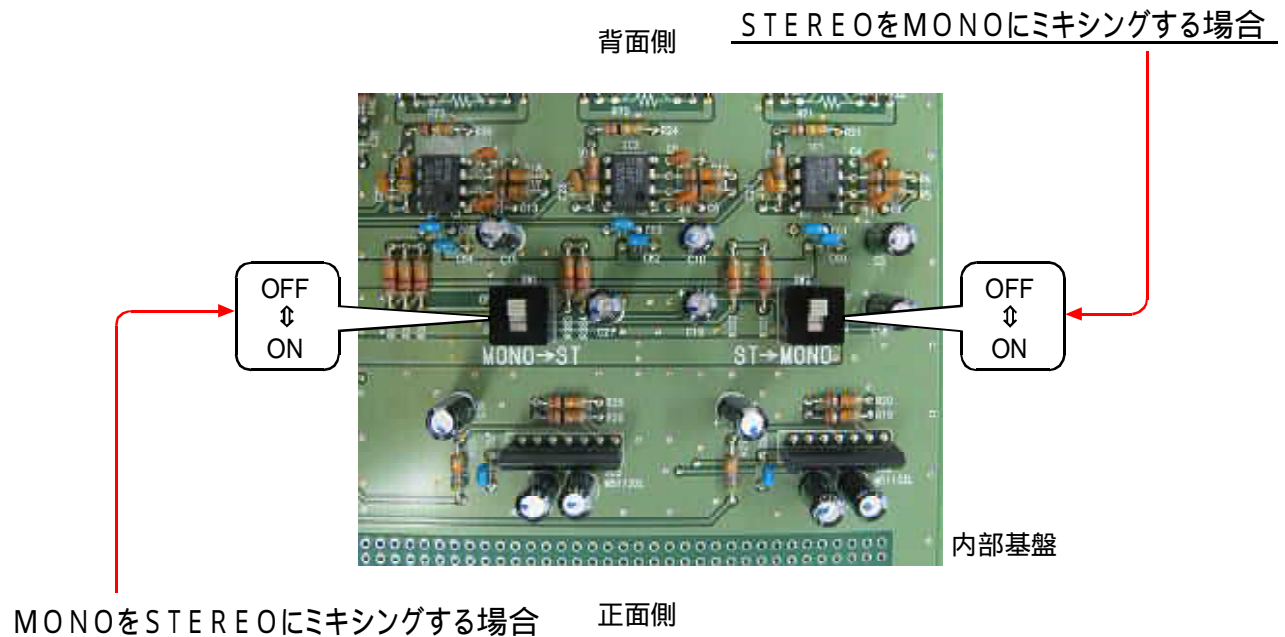
ミキシングスイッチを操作するためには、上部パネルを取り外す必要があります。下記図を参考に各ネジを外し、上部パネルを背面側にスライドさせて引き抜き、取外して下さい。

ご注意！) 上部パネルを外す前に必ず電源プラグを抜いてから行って下さい。また故障の原因となりますので、本体内部のミキシングスイッチ以外の部品には触れないようお願い致します。



ミキシングスイッチの操作方法

下記図を参考に、利用する音声に合わせて、ミキシングする音声のスイッチを「ON」にして下さい。工場出荷時は、各スイッチ共に「OFF」になっています。



スイッチの操作完了後、開け方の逆の手順で上部パネルを取り付けて下さい。また、上部パネルを取付けるまで電源プラグを差し込まないで下さい。

入出力仕様

入力	基準入力レベル	入力インピーダンス	コネクタ形状	回路
	+ 4 d B s	1 0 k	X L R - 3 - 3 1相当	平衡

出力	基準出力レベル	入力インピーダンス	コネクタ形状	回路
	+ 4 d B m	6 0 0	X L R - 3 - 3 2相当	平衡

アンバランスで接続する場合は 2 番 HOT、3 番を 1 番グランド側に接続してください。

電氣的性能

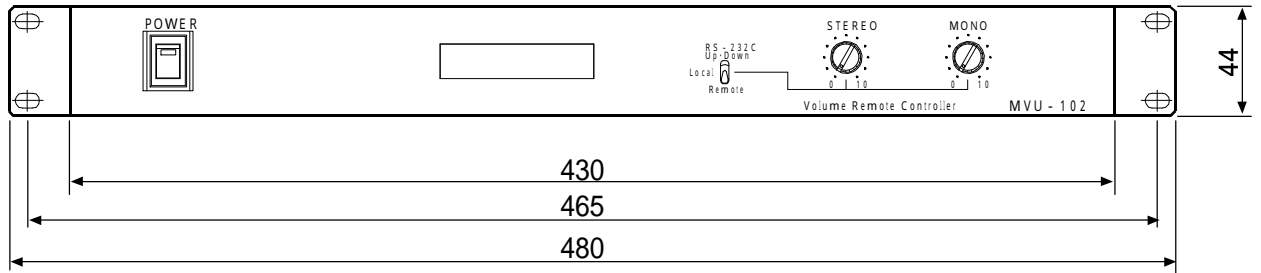
周波数特性	20 ~ 20 k H z
全高周波歪率	0.1%以下 (各基準入力時、20 ~ 20 k H z)
S / N比	65 d B 以上 (30 k H z L P F O N)

一般仕様

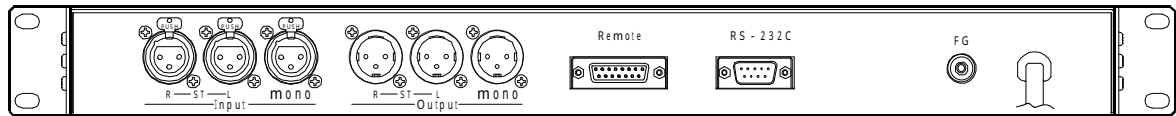
電源	A C 1 0 0 V、5 0 H z / 6 0 H z
消費電力	5 W
動作温度	0 ~ 4 0
質量	約 3.5 k g
外形寸法	480 × 44 × 200 (幅 / 高さ / 奥行き) (突起含まず)
マウント	E I A 1 Uラックマウント

外観および仕様は、改良のため予告無く変更することがあります。

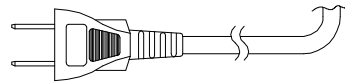
ボリュームコントロールユニット MVU - 102 仕様書



正面図



背面図



仕様		
制御部	リモート制御	コネクタ: D-sub15ピン (メス M2.6)
	RS-232C制御	コネクタ: D-sub9ピン (オス #4-40)
入力部	回路: 平衡	コネクタ: XLR-3-31(メス)
	入力数: ステレオ(L,R)1ch モノラル1ch	入力レベル: +4dBs
出力部	回路: 平衡	コネクタ: XLR-3-32(オス)
	出力数: ステレオ(L,R)1ch モノラル1ch	出力レベル: +4dBm
ミキシング機能	内部スイッチによる設定 (MONOをSTREOにMIX, STREOをMONOにMIX)	
電源	AC100V 50Hz/60Hz	
消費電力	5W	
主材質	冷間圧延鋼 t1.0~2.0	
処理	メラミン焼付塗装	
塗装色	マンセルN1.0 近似値	
質量	約3.5kg	
外形寸法	W480×H44×D200(突起含まず)	
付属品	取扱説明書兼保証書、EIA 1Uサイズラックマウント金具	

保証書



保証期間：お買上げ日より1年間

品名：ポリウムリモートコントローラー	
型名：MVU - 102	
お客様	〒
ご住所	
TEL	() -
お名前	様

販売店名
TEL

このたびはミタカ通信製品をお買上げいただき誠にありがとうございました。正常な使用状態で保証期間中に故障が発生した場合には本書またはお買上げ時の伝票を同封し、販売店または弊社までご依頼下さい。

MIX  管理 No: